



# 「SDGs未来都市」の推進

## ■市民と一丸となって感染拡大防止

はじめに、新型コロナウイルス感染症につきましては、新規陽性者数が増加傾向で推移しており、特に年末年始にかけて接触機会の増加が見込まれる中、感染の更なる拡大が懸念される状況にあります。

こうした状況を踏まえ、引き続き、緊張感を持って感染動向を注視しながら、市民の皆様への命や生活を守ることを最優先に、感染の急拡大や新たな流行株への置き換えなど、あらゆる事態に迅速かつ的確に対応していくとともに、市民の皆様と一丸となって感染拡大防止対策に取り組んでまいります。

ワクチン接種につきましては、現在、オミクロン株対応ワクチンの接種を、市内約430か所の医療機関と市内8か所の集団接種会場において実施しております。季節性インフルエンザとの同時流行も懸念される中、これに備えるためにも、希望する方が速やかにワクチン接種を受けられるよう、引き続き、接種体制の整備を進めてまいります。

## ■さいたまクリテリウムの成功

さて、この秋は、各区で3年ぶりに区民まつりが開催されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったイベントや、対面での交流が、感染拡大防止策を取りつつ再開され、**ポストコロナ**\*1の兆しを感じることができた秋でありました。

11月6日には、世界最高峰のサイクルロードレースの名を冠した「J:COM Presents 2022 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」が、2019年以来、3年ぶりに開催されました。コロナ禍を乗り越え、大会が盛大、かつ、無事に開催されたことは、ひとえに議員各位、並びに市民の皆様、関係機関の御理解と御協力の賜物でございます。厚く御礼を申し上げます。

## ■東日本地域の地方創生

10月25日には、「第8回東日本連携・創生フォーラム」を、3年ぶりの対面を交えた、オンラインとのハイブリッド方式で開催いたしました。

東日本連携都市は、新たに北海道札幌市と岩手県岩手町を加えた28自治体となり、当日は、SDGsや広域周遊に関する連携について熱心な議論が交わされたほか、広報紙や東日本ウェブプロモーションなどの連携事業が報告され、これまで推進してきた都市間連携の一層のシンカを感じられる貴重な機会となりました。

今後につきましても、連携都市間の交流や情報発信を一層強化し、市内経済の活性化と東日本地域の地方創生に取り組んでまいります。

## ■「グローバルサミット」の成功

次に、11月22日から24日にかけて、『さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNA グローバルサミット～』を開催いたしました。

本サミットでは、海外9カ国、15都市をはじめ、国内都市や企業が参加し、エネルギーやモビリティなどをテーマとした分科会では、各都市・企業の取組の紹介や、パネルディスカッションが行われました。

また、全体セッションでは、**G7(ジーセブン)**\*2各国の都市連合で構成される「アーバン7」を主導する、ドイツのミュンスター市長や、マンハイム市長から、これまでのアーバン7の活動が共有されたほか、令和5年度に広島で開催されるG7サミットに向けた、指定都市市長会への期待が寄せられました。

御参加いただいた300名を超える皆様と国内外の先進事例を共有するなど、国際色豊かな、まさに「グローバルなサミット」として開催することができました。

本サミットで得られた知見やパートナーシップ等を通じて、市民の皆様が快適に住み続けることができる、持続可能なまちづくりを「SDGs未来都市」として推進してまいります。

## ■ふるさと納税の充実と倍増に挑戦

最後に、12月は、**ふるさと納税**\*3が集中する時期となっております。

今年度は、ふるさと納税の寄附受入額の拡大に向け、新たな取組を実施してまいりました。

具体的には、全庁横断的なプロジェクト会議を設置し、返礼品等の充実に向けた返礼品提供事業者の公募や、SNSを活用した市民からの提案募集の取組により、年度当初に約100品目であった返礼品の品目数は、年末には倍増させることができる見込みとなっております。

引き続き、返礼品の拡充に鋭意取り組むとともに、受入額につきましても倍増させることができるよう挑戦してまいります。

また、企業版ふるさと納税につきましても、金融機関、内閣府主催のセミナー及びマッチング会における県内企業等へのプレゼンテーションや、**さいたま市CS・SDGs(シーエス・エスディー・ジーズ)パートナーズ**\*4などに対するPRを積極的に展開した結果、本年7月に初めての寄附をいただき、今月までに、5件の寄附をいただいたところであります。

今後も、両制度の活用を通じ、本市の魅力発信を強化するとともに、更なる地域産業の活性化や交流人口の増加につなげてまいります。



清水勇人 市長

## コロンちゃんのかいせつ



県民公論の  
マスコット  
コロンちゃんが  
解説します。

\*1「**ポストコロナ**」=  
コロナまん延時期が収束した後の世の中のこと。  
「アフターコロナ」ともいわれます。

\*2「**G7**」=  
Group of Seven(グループ・オブ・セブン)の略。  
日本、アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、ドイツ、イタリアおよびEU(European Union、欧州連合、27カ国)で構成される政府間の政治フォーラム。

\*3「**ふるさと納税**」=  
ふるさと納税とは、国民が好きな自治体(都道府県や市区町村)を選んで寄付ができる制度。  
ふるさと納税は税額控除の額が大きく、なおかつ自治体から返礼品を受け取ることができるため、非常にメリットの大きい制度といえます。

\*4「**さいたま市CS・SDGsパートナーズ**」=  
さいたま市と共に、市民満足度(CS)の向上を目指し、SDGsの達成に取り組む企業や諸団体。

令和4(2022)年12月19日時点で379団体。

